

取組① 基礎・基本の学習内容の定着

○基礎的計算力の向上

毎時間の授業の導入で、「あまりのあるわり算」、「2位数×1位数」の計算プリントに取り組んだ。

○OUPUPプリント(毎日の宿題)の取組

プリント1枚(表に計算問題、裏に国語の短作文など)を取り組み、毎日添削を行い、できなかったところは補習を行った。

○九九検定(復習)

2, 3学年を対象に実施した。



取組③ 算数科授業改善の取組

○全学年研究授業の実施

○指導過程・ノート指導の統一

○練り上げの工夫

発達段階や学習課題によって学習形態を変え、効果的な話し合いができるようにした。

○学び合いの工夫

児童の考えを分類・整理し、児童の考えを明確化させるための発問の仕方を工夫した。

○OTT指導・習熟度別指導の効果の検証

発達段階や学習内容によって、どのような指導が効果的か検証を行った。



取組④ 授業外での学習支援

○自主学習の充実

全校で統一した自主学習の振り返り表を作成し、主体的な学習の取組を促すことで、習慣化を図った。

○OUPUPタイム(国・算、隔週1回)の充実

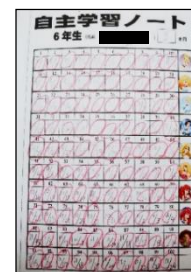
県学調などの分析結果から、課題となった学習内容の問題を繰り返し取り組んだ。必ず、実施後解説を行い、理解を深めた。

○環境整備の充実

校舎内の掲示の充実を行い、児童がいつでも目に触れられることで、興味関心を高め、定着を促した。

○個別支援の充実

コバンのびのびシートをもとに休み時間の補習を行った。



取組② 学習サポーターの活用 (近隣大学・中学校との連携)

○サマーパワーUPUPスクール(夏休み補習教室)

2学年から6学年までを対象に、補習を実施。中学生の学習サポーターもボランティアで参加。

○放課後UPUPスクール(9月~12月)

3学年を対象に、委員会・クラブの裏の時間を活用して補習を実施。国語(短作文・文法)の学習を本年度より追加した。

○授業参加(11月~1月)

4学年を対象に学習サポーターを配置し、算数を中心とした個別支援を実施。

